

2024年度 あいち防災人材表彰について

あいち防災人材表彰は、防災・減災カレッジで得たスキルを活かして継続的に実践した、自主的な防災・減災への取り組みのうち、地域防災力の充実・向上に貢献し、他の模範となる取り組みを表彰する制度です。

この度、2024年度のあいち防災人材表彰について、審査の結果、以下のとおり決定しましたのでお知らせいたします。

1 審査方法

2024年2月から2025年1月までに提出された応募申請又は推薦を対象として、防災・減災カレッジの主催者であるあいち防災協働社会推進協議会及びあいち・なごや強靱化共創センター関係者を審査員とした審査会による審査結果を踏まえ、あいち防災協働社会推進協議会幹事会が受賞者を決定。

2 2024年度受賞者

(1) あいち防災人材大賞（該当者なし）

(2) あいち防災人材奨励賞（1名）

すずき きみたか
鈴木 公貴 様

3 決定理由（実践された取り組みの概要等）

すずき きみたか
【鈴木 公貴 様】

(1) あいち防災人材認証年度

2024年度

(2) 実践された取り組みの概要

①実践タイトル

災害発生時に自律的に考動できる組織作り・ヒト作り・拠点づくり

②実践期間

2024年1月～現在

③活動内容（応募資料から要約）

- 自社の防災訓練がマンネリ化されており、有事の際に自律的に考動することが難しいという課題があったため、自社の防災事務局の担当者として、毎回被害想定を変えたりリアルな防災訓練（全社一斉）を実施し、職場に新たな学びや気づきを生み出すことができた。
- 職場の広域な敷地内（約60ha）では、携帯電話が使用不可の場合に被害状況の集約に多くの時間を要すると考え、防災組織と通信手段（アナログ電話活用）の見直しを行った。訓練実施の際にはエリア内の被害状況を39分以内に94%集約（改善前：120分）することができ、大幅な時間短縮を実現した。
- 被災経験のない従業員は発災時の行動フローがイメージできないという課題を踏まえ、各職場が自律的に訓練企画できるよう、避難方法や負傷者搬送等の手順を動画でまとめた防災マニュアルを作成した。
- 一般避難者として地域の総合防災訓練に参加することにより、地域で被災した場合の行動を理解し、発災時に地域と共に活動すべき事を習得することができた。